

# 第90回 草津市障害児(者)自立支援協議会 定例会議 (令和5年度)

日時:令和5年11月20日(月)午前9:30~11:30

場所:草津市役所8階 大会議室

## 開会

1. 前回(9月21日:定例会議)のアンケート …… 資料①

## 2. 活動報告

① 基幹相談支援センター …… 資料②

② 相談支援部会 …… 資料③

③ 子ども支援部会 …… 資料④

・医療的ケアの会議

・放課後等デイサービス連絡会

## 3. トピックス

『事例対応と課題解決 ケースから見える地域課題』

事例提案とテーマに沿ってのグループワーク

○領域別グループで、身近な地域の実情の共有と、解決の手立ては？

テーマ ① 障害当事者の子育て支援 …… 資料⑤

② 余暇の活動充実への支援 …… 資料⑥

③ 社会参加・活動の支援 …… 資料⑦

④ 障害者の就労支援 …… 資料⑧

(1) グループワークの進め方

(2) グループでの意見交換

(3) グループの発表

4. 新規事業所・構成団体や機関の活動…8機関 (今回は 紙面での紹介)…資料⑨

(今後の開催案内)

## 令和5年度 今後の草津市障害児(者)自立支援協議会の日程

① 令和6年1月18日(木)9:30~11:30(研修会) 草津市役所8階 大会議室  
(仮案) ~グループホームの現状・一人暮らしを考える~

② 令和6年3月21日(木)9:30~11:30(定例会議) 草津市役所8階 大会議室  
○活動報告とトピックス(予定)「草津市の拠点整備に向けて(案)」

## 令和5年度基幹相談支援センター活動報告（10月～11月）

基本事業 について	(1) 総合的・専門的な相談の実施 (2) 地域相談支援体制の強化の取り組みに関すること (3) 自立支援協議会の運営管理に関すること (4) 社会資源活用に関すること (5) 権利擁護・虐待防止に関すること (6) 地域移行・地域定着の促進の取り組みに関すること (7) 地域生活支援拠点に関すること	
重点事業等 にすること	○上半期（4-9月）事業実施状況の成果と課題を整理し、下半期（10-3月）事業実施 予定の確認を行った。 ○計画相談の受任（受諾）調整の状況（4月-10月） 相談60件→計画相談へ移行34件 調整中等12件、一般・基幹相談での支援等14件 ○課題別懇談会の開始 各分野に関係のある事業所、当事者関係団体、行政、保健所等の参画をいただき、 4つの懇談会（★）を開催した。今年度は各懇談会ごとに2～3回の開催する予定。 ○地域生活支援拠点事業整備に係る事業所訪問（障害福祉課と共同） ・短期入所事業所（施設）2、グループホーム2、共生型事業所3 ○基幹相談支援センターが企画運営する研修会について（予定） ・相談支援専門員等のスキルアップ・専門研修 1回目予定日：12月12日PM 2回目：2月（日程調整中） ・虐待防止研修（草津市虐待防止センターと共同実施） 予定日 2月5日AM テーマ：サービス事業所の組織マネジメントについて	
関係会議開催・参加状況(主要なもの)		
10	3	★地域生活支援拠点整備事業のコア懇談会（センター）
10	4	★重症心身障害児者入浴ニーズ調査懇談会（センター）
10	5	草津市社協「福祉のまちづくりと高齢者も障害者も住み慣れた地域で暮らすための理解の輪づくり」打合せ
10	7	草津市精神障害者家族会ひまわりの会懇談（センター）
10	11	障害福祉課との定例打ち合わせ（センター）
10	12	★精神障害者及び発達障害者の支援懇談会（センター）
10	17	草津市障害児者自立支援協議会 運営会議（センター）
10	18	第4回相談支援部会（センター）
10	19	湖南圏域行動障害ネット活動報告（草津保健所）
10	27	精神障害者支援会議（草津保健所）
10	27	★強度行動障害支援懇談会（センター）
10	30	草津市社協（障害支援部会）研修会（キラリエ草津）
11	8	障害福祉課との定例打ち合わせ（センター）
11	15	湖南圏域の相談支援ネット（センター）
11	20	草津市障害児（者）自立支援協議会定例会議（草津市役所）

令和5年度課題別懇談会（中間報告）

	テーマ	会議の方向性	2回目以降に向けた取組
1	地域生活拠点整備事業のコア会議  10/3(火)10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和5年度内に草津市の体制を整える</li> <li>② 協力事業所の登録の促進に向けた検討(短期入所・居宅サービス事業所、相談支援事業者)</li> <li>③ 圏域のプロジェクトとの共有</li> </ul>	<p>7つの事業所(障害者のグループホーム及び施設、共生型施設)を市障害福祉課と一緒に訪問した。進めるにあたっての課題(共有の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①受け入れ施設の人材不足 ②緊急受け入れのケースの事前情報の範囲がどのくらい提供してもらえるのか</li> <li>③支援者が一緒に泊まってくれるなら対応可能も。(場所貸し)</li> </ul> <p>※共生型の施設は一部を除き平時からの障害者の利用があまり進んでいない状況</p> <p>○圏域のプロジェクトへの提案など⇒①平時から短期入所先を確保できるよう促し、スムーズな受け入れを目指す。②緊急対応の必要な方の把握</p> <p>次回会議予定 R5年11月28日(火)午後1:30~3:00(圏域の状況を踏まえ延期させていただきました。)</p>
2	重症心身障害児者入浴ニーズ調査懇談会  10/4(水)15名	<p>対象者:64人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① アンケート調査⇒1月へ(1月に2回目の会議)</li> <li>② 施策的な案作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 障害福祉課と共同で実施予定。</li> <li>② アンケートおよび送付文の内容の精査、費用の調整、分析の方向性</li> <li>③ 今年度中にアンケートの結果を取りまとめる。</li> <li>④ 来年度以降の重心の対象者数の把握</li> </ul> <p>次回会議予定 令和6年1月15日(月)午前10:00~11:30</p>
3	精神障害者及び発達障害者の支援懇談会  10/12(木)17名	<p>暮らし、日中活動、医療機関の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 課題の共有と関係機関のネットワークづくり</li> <li>② 支援策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 精神障害者支援に医療の役割は大きいですが、圏域や県としての広域的な取り組みは保健所が中心になる。 ・初診の取りにくさ、患者と医療機関とのマッチング、急性悪化した時の受診方法、治療中断への対応</li> <li>② 相談内容の分析:心身連の一般相談(10月分の77人)の分析</li> <li>③ 精神障害(発達障害も含む)の相談支援体制の検討(人材の育成)・・・支援センター風の支援</li> <li>④ 訪問看護、就労継続支援 A・B の事業所、医療機関、相談事業所、行政などの社会資源のネットワークの必要性</li> </ul> <p>次回会議予定 令和5年12月15日(金)1:30~3:00</p>
4	強度行動障害支援懇談会  10/27(金)14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 人材育成、職員のスキルアップ、支援内容の交流がしたいという支援現場のニーズ</li> <li>② 全体の課題の解決に向け取り組みを検討</li> <li>③ 生活介護事業所の不足、マッチングの解決に向けた取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各事業所の現地見学研修</li> <li>② 現地研修の内容等の報告と共有</li> <li>③ 発達支援センターとの連携: 成育歴、支援経過等の活用、幼児期、小学校、中学校等との意見交換の場所の設定。</li> <li>④ 人材育成・支援スキルの向上</li> <li>⑤ 来年度の取り組みとして部会化を検討する。(継続的な検討や研修の機会)</li> </ul> <p>次回会議予定 令和6年1月30日(火)午前10:00~11:30</p>

## 草津市自立支援協議会 部会・プロジェクト活動報告

部会・PJ名	相談支援部会	報告者	中原・事務局
部会長	中原(わかたけ)		
副部会長	熊越(ほっとココ)		
構成機関	風、歩歩、大地、わかたけ、ディフェンス、クロスロード(辻義塾)、おひさまハウス、アザレア、はたらこっと、ぱアソ、栄寛、レモネード草津、風彩、草津市発達支援センター、ほっとココ、草津市障害福祉課、基幹相談支援センター		
事務局	草津市基幹相談支援センター(白波瀬・寺嶋)		
<b>活動報告</b>			
今年度のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者の思いに沿った質の高いサービス等利用計画等の作成を目指し、研鑽する</li> <li>●他機関との連携や相互協力が活発に行えるよう情報共有</li> <li>●地域課題の共有と検討</li> </ul>		
回数	開催日時	概要	参加数
第4回	令和5年 10月18日 13時30分 ～ 15時30分	<p>① 草津市社会福祉協議会 「福祉のまちづくりと高齢者も障害者も住み慣れた地域で暮らすための理解の輪づくり」伊藤美紗都氏</p> <p>② 意見交換</p> <p>③ ケースの課題</p> <p>進行 中原相談支援部会長</p> <p>1. 草津市社会福祉協議会の地域づくり事業の活動報告</p> <p>活動の中で3つの学区で「医療福祉を考える会議」を開催。</p> <p>その中で、高齢者が地域で住み続けたいというニーズに答えるためには、「在宅サービスが安心して利用できる環境が必要」⇔在宅サービスを支える事業所が訪問で苦勞している一つに駐車場が確保できないという現実があることが分かった。</p> <p>福祉のまちを作るために、相手の立場を思い、我が事として住みよい街づくりを共に検討する中で、駐車場を提供できるという事業所などが出てきた。今後はそれを現場に還元するののも一つの方向。しかし、あくまで社協は駐車場問題の解決の取り組みのみをしているのではない。福祉のまちづくりの土台を作っているので、駐車場問題は切羽詰まった課題ではあるが、そのところだけに注目しないで、ともに福祉のまちづくりに理解と協力をお願いしたい。</p> <p>○意見交換</p> <p>駐車場に協力してもらえるリスト作成や更新、告知の看板、警察との連携等、活発に意見が出て関心の高さが感じられた。</p> <p>○事務局の感想</p> <p>現場で駐車場問題に直面している相談員と、福祉のまちの土台部分のとして住民の意識作りを進める社会福祉協議会との間で、「駐車場問題は福祉のまちづくりのきっかけであり、地域の機運作りこそ大切であり、地域づくりには時間が必要」と考える社協と、「一日も早く駐車場の確保を望む」相談員の関係性が見えた。高齢者分野と連携しながら、ともに福祉のまちづくりに向けて現状を発信</p>	<p>○機関数： 17事業所</p> <p>○欠席： 4事業所</p> <p>○参加数： 17名</p>

することの重要性を感じた。

## 2. 相談支援事業所から

行動援護を利用した対象児が真っ赤な顔をして帰宅。支援をしていた事業所からの説明もなく、母親が計画相談の担当相談員に相談した。その後、障害福祉課、安心なっとく委員会、県障害福祉課、最終的に保健所の行動援護の指定を行う管轄に相談。現場の問題意識がうまく伝わらなくて徒労した。

### ○そのことについて意見交換

- ・ケース会議を開催し課題の共有することも有効（経緯の振り返り、再発予防）
- ・行動援護の提供事業者の責務：支援計画や支援手順の共有  
支援の手順書、利用者への説明、観察、記録の作成。
- ・苦情をきっちり吸い上げる機能や流れ
- ・事業所への再発予防の指導と取り組みの確認

## 3. 地域の課題

### ○日中一時支援

- ・圏域のある日中一時支援事業所が、年末で閉所になるとの情報がある。  
背景には人材不足がある様子。社会資源が無くなることは利用者にとって大変困ること。

草津市内で単独事業所は1か所。

日中一時支援事業所の運営と単価の問題

### ○強度行動障害者への支援

- ・施設の利用者への丁寧なアセスメントと適切な支援

日中サービス支援型 「日中のサービス」とは何か…支援計画があるはず。

### ○移動支援

- ・通学支援や通園支援、通勤支援について…どこまで対応が可能なのか？

### ○短期入所

- ・急な利用への対応状況

## 令和5年度子ども支援部会

(子ども支援部会は、下記の3つの会議を総括するため、それぞれを実施後、開催予定です。)

### ●草津市放課後等デイサービス連絡会

市内事業所の横のつながりを深め、質の高いサービス提供を進めるため交流会と研修会を実施

#### (1) 情報交換交流会

第4回は11月27日(月)予定

#### (2) 研修検討会議

日程	内容
第2回研修会 9月22日(金) 22事業所(29名参加)	研修会の企画や実施について協議 【第2回研修会】 ・子どもの年齢や障害特性による集団編成や活動内容について実践報告を通してグループワークによる研修を実施
第3回 会議 10月15日(水)	・第2回(9月22日)振り返りとアンケートを踏まえて次年度の実施方法を検討。

### ●草津市医療的ケア児等支援推進協議会

医療的ケアの必要な子ども等への支援について、保健、医療、福祉、教育等の関係機関の連携を推進するため開催(1回開催)

### ●障害児相談支援体制検討プロジェクト

児童の相談体制の現状や課題を協議、望ましい体制の提案 …… 1回目:1月頃開催予定

# グループワークの進め方



## 1. グループワークの所要時間

⇒テーマの提案からグループの発表まで1時間30分程度の予定です。  
(⇒グループでの話し合いは30分程度で想定)

2. 運営委員や事務局がファシリテーターで参加します。

3. 発表役……………( )月生まれの方をお願いします。

記録係……………( )月生まれの方をお願いします。

(進め方)

(1) ファシリテーターは進行をお願いします。

自己紹介:その中で、あなたの誕生日を教えてください。

↓

(2) テーマの領域を共有化:右側の事例を読んで話の導入にして下さい。

↓

(3) 意見出し:イメージの事例にかかわらず、それぞれの日頃のかかわりの中で他にもこの領域のテーマに沿った事例などを出し合ってください。

↓

(4) 出た意見・事例の共通点や背景を考える:なぜそんなことが起こっているのか話し合ってください。

↓

(5) 解決に向けた提案:自由に提案してください。

↓

(6) 発表:各グループの話の内容を発表してください。



(ご苦労様でした)

# ケースから見えてくる地域課題

グループで相談してみてください！

身近な地域の実情の共有と解決の手立ては如何に・・・

## ★課題1： 障害当事者の子育て支援

**背景** ある障害当事者の子育ての体験から……

- ・自分のことで、精一杯。こんな時もある。
- ・身近に応援してくれる人(祖父母など)がいない場合もある。

**そこで** ○妊娠から出産、乳幼児期から成人まで、利用できるサービスは？

○利用できる支援(サービス)がない場合どうするか？

○どんな困りごとがあるのか？

○どんな支援があったら良いのか？

**テーマの背景(事例を参考にイメージの共有)**

Aさんの事例

Bさんの事例



## ★課題2：余暇の充実などの支援

**背景** 放課後や通所事業利用後、安心して余暇を過ごしたいという願い。

**そこで** ○卒業後は放課後等デイサービスを利用できないが、福祉事業所利用後など（夕方、土日）は日中一時支援事業で対応できるか。  
○そもそも、法制度、利用目的や利用条件が違うのだが…

**テーマの背景（事例を参考にイメージの共有）**

Cさんの事例

### 参考

**【日中一時支援】**・総合支援法（地域支援事業）

草津市が契約事業所は64事業所（草津市内は34事業所）

障害のある人を一時的に預かることにより、日中活動の場を提供し、日常的な訓練等を行うとともに、家族の就労支援及び日常適に介護している家族の一時的な休息を図るもの。

簡単に言うと…

介護負担軽減・日中活動

**【放課後等デイサービス】**・児童福祉法

草津市内の事業所37か所

放課後等デイサービスは、小学校1年生から高校3年生（6歳から18歳 特例で20歳まで）の障害を持ったお子様や発達に特性を持っているお子様が利用できる福祉サービス施設。放課後や行事の代休、土曜日、祝日、長期休暇（夏休み、冬休み、春休み）などに利用することができ、生活能力向上のための訓練等を継続的に行い、日常生活動作の指導、集団生活への適応訓練等を支援する療育の場であるとともに、放課後の居場所としてや、またレスパイトケアとしての役割がある。

簡単に言うと…

療育・居場所確保

**【余暇活動】**

基本的な生活に要する時間・仕事・家事以外で自由に過ごせる時間のこと。余暇活動も社会参加のひとつで、余暇活動を通して、自立するために必要な能力やスキルを身につけてもらうのも目的のひとつ。いろんな経験をすることが大切。一方、保護者も常に介護をしていて自分の時間を確保することが難しいため、介護をする側も自分だけの時間は必要。

## ★課題3：社会参加・活動の支援

**背景** 「移動支援、ぜんぜん取れない！特に土日は！」という実情

・移動支援事業所 草津市登録53か所 — 草津市内に37か所

**そこで** 提供側にとっても…

○移動支援の事業所の実情はどうか。

○行動援護はどうか。

○移動支援の委託費単価。利用の条件等の課題はないか？

○除算という条件はどういうものか？

**テーマの背景(事例を参考にイメージの共有)**

Dさんの事例

Eさんの事例

### 参考

【移動支援事業】……草津市が契約している事業所は53か所(市内は37事業所)

障害のある人が、社会生活上不可欠な外出及び、余暇活動の社会参加のための外出時の移動介護を行うもの。

【行動援護】……草津市が契約している事業所は53か所(市内は37事業所)

行動の際生じる危険を回避するために必要な援護(外出時における移動中の介護を含む)を行うもの(障害支援区分が3以上で、障害支援区分調査のうち、行動関連項目等の合計点数が10点以上の人。障害児にあっては、これに相当する支援の度合いの人。

## ★課題4：障害者の就労支援

**背景** 国は一般就労への移行を奨励しているが、就労系のサービス利用者の一般就労への移行はなかなか進まない(少ない)。

また、就労継続支援事業所の中には、定員割れの問題もある。

そして、新規の就労移行支援事業所が急増傾向であるが、対象者・支援方法・アフターケアなどの実情はどうか

**そこで** ○就労支援事業所は利用者ニーズに対して、どうあればよいのか。さまざま課題が危惧されるようにも思われる。

○日中の仕事を生活の中心とした、大人のライフサイクルが維持できればよいの

であるが・・・賃金・工賃は？ 働く環境は？ モチベーションの維持は？

○次のステージへの送り出し支援の現状は？ その時に当事者は何が不安なのか？

**テーマの背景(事例を参考にイメージの共有)**

Fさんの事例

(話し合った事例)

●グループ名:メンバー

① 紙面の事例にこだわらず、  
グループでいろんな事例を出してください。  
(こんなことが起こっている)

② それが起こっている背景を想像してください。  
(仮説をたてる)  
(このことが起こっているのは〇〇ということがあるでは  
なかろうか?)

③ 対処の方法を考える  
(解決に向かう、どんな方法があるのか?)

--	--	--

## 令和5年度草津市障害児（者）自立支援協議会定例会議（第90回）

### 事業所・活動 紹介

No.	所 属	担当者 (敬称略)	内 容
1	ディーキャリア 草津オフィス	下山あい	「傾聴の研修会」のお知らせ ○開催日:R5年12月21日(木)
2	精神障害者家族会 ひまわりの会	吉村潤子	令和5年度 草津市精神保健啓発事業 講演「精神障がいがあったとしても・・・地域で暮らす! 地域とつながる! ～社会参加を応援する夢吐レンジャーの試み～」のお知らせ ○開催日:R5年12月3日(日)
3	滋賀県社会保険労務士 会	滋賀県 社労士会	社会保険労務士による「障害年金無料相談会」のお知らせ ○開催日:R6年2月1日(木)
4	草津市健康増進課	竹本芽衣	ゲートキーパー養成研修(ステップアップ編)のお知らせ
5	JALAN	松下佑太	新規プログラム「チームしるる」のお知らせ ○毎週月・水・金
6	LITALICOワークス 草津	奥村陽太 赤井紗綾香	新規事業所開設のお知らせ
7	社会医療法人 誠光会 淡海医療センター・ 淡海ふれあい病院	吉村明浩	全国介護事業者連盟 障害福祉事業部会設立の案内について ○総会日:R5年11月28日(金)
8	草津手をつなぐ育成会	中島由里子	てとて新聞NO4、成人部 ポーリング大会2023案内 ○開催日:R5年12月10日(日)

